



2016年3月18日

各位

会社名	持田製薬株式会社
代表者	代表取締役社長 持田 直幸 (コード番号 4534 東証第一部)
問合せ先	経営企画部広報室 (TEL. 03-3225-6303)
会社名	味の素製薬株式会社
代表者	代表取締役社長 長町 隆
問合せ先	経営企画部 (TEL. 03-6280-9802)

慢性便秘症治療薬 AJG533 の国内における 共同開発および共同販売に関する契約締結のお知らせ

味の素製薬株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：長町 隆）と持田製薬株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：持田 直幸）は、味の素製薬株式会社が国内で慢性便秘症治療薬として開発中の AJG533（一般名：Elobixibat）について、共同開発および共同販売に関する契約を締結しましたので、お知らせいたします。

AJG533 は、アルビレオ社（本社：スウェーデン）から導入した新たな作用メカニズムをもつ経口便秘薬です。胆汁酸の再吸収に係わる胆汁酸トランスポーターを阻害し、自然な排便を促します。現在、国内において、慢性便秘症を対象とした第 3 相臨床試験ならびに長期投与試験を実施中です。

便秘症は世界各国で高頻度に認められる疾患であり、特に女性と高齢者に多く見られます。便秘症の多くは慢性化し、排便回数の減少に加えて、硬便、残便感および腹部膨満感等の症状に悩まされ、QOL（生活の質）の低下につながっています。消化器疾患領域のスペシャリティファーマを目指す味の素製薬株式会社の意向と、持田製薬株式会社のポートフォリオ戦略が合致し、今回の契約締結に至りました。

本契約により、両社は AJG533 の開発を共同で行い、味の素製薬株式会社の製造販売承認取得後、日本国内において両社で同一製品名にて共同販売を行います。両社は、既存薬にない特徴を備えた新たな作用メカニズムの AJG533 を提供することにより、慢性便秘症の治療選択肢の幅を広げ、患者さんの QOL の向上に一層貢献できるよう努めてまいります。

なお、本件による持田製薬株式会社の当面の連結業績への影響は軽微であります。

以上